

志村熊野神社所蔵絵馬・扁額 付寄進札 (しむらくまのじんじゃ しょぞうえま・へんがく つけたりきしんふだ)

板橋区登録有形民俗文化財 平成22年3月25日登録

志村熊野神社は11世紀半ばに紀州熊野より御分霊が勧請されて以来、志村の鎮守として住民の崇敬を集めています。

当社所蔵の絵馬と扁額は、一部は江戸時代のもですが、ほとんどが明治時代から昭和初期にかけて、地元住民によって奉納されたものです。絵馬には、参詣図や神話図、物語図など多様な内容が描かれていますが、そのなかに伊勢太々神楽奉奏の様子を描いた寛政7年(1795)の絵馬があります。伊勢太々神楽とは、江戸時代に伊勢外宮の御師や社家の家で行われていた神楽で、伊勢参宮をした人が祈願成就と参宮を果たした証しとして同神楽奉奏の様子を描いた絵馬を作成して地元の氏神さまに奉納しました。当社の寛政7年の絵馬は区内最古の絵馬というだけでなく、同様の神楽奉奏の絵馬としても最古級となります。

現在、絵馬と扁額および寄進札は江戸時代後期に建築された入母屋造・銅板葺(もと茅葺)の旧拝殿を利用した絵馬殿内に架けられて保存されています。



所在地：板橋区志村 2-16-2 (志村熊野神社)

交通：都営三田線「志村三丁目」駅徒歩3分

国際興業バス「志村三丁目駅」徒歩7分 [成増駅北口⇄赤羽駅西口 (赤02)]